

■ 平成28年度 事業報告

平成28年度事業計画にもとづき、各事業の実施に努めた。

水道産業界で活動している連合会会員は、その技術開発、生産活動を通じて、上下水道・工業用水道の質的向上に努め、我が国の生活環境の改善や都市基盤の整備に大きく貢献している。連合会では、会員のこうした活動がやりやすい環境整備を目的に下記の諸活動を展開した。

1 政府機関等への要望活動

当連合会では、平成29年度政府予算の編成にあわせ、上下水道・工業用水道の事業量確保に向けた一連の要望活動等を行った。

(1) 平成28年7月20日、各省庁の概算要求時に照準をあわせ、木股昌俊会長及び福井秀明、露口哲男、水谷重夫、渥美和裕、早稲田邦夫、松原正、松木晴雄各副会長を中心に総勢24名に及び要望団を編成し、厚生労働省、総務省、国土交通省、経済産業省、財務省に、それぞれ上下水道並びに工業用水道の各事業量の確保に向けた要望活動を行った。

(2) 平成28年11月25日、政府予算の財務省原案内示前に木股昌俊会長及び角川政信、渥美和裕、野村喜一、早稲田邦夫、松原正、松木晴雄各副会長を中心とした要望団を編成して予算要望とともに水道産業界への支援を要請した。

要望団は、総勢25名で厚生労働省、総務省、国土交通省、経済産業省、財務省の各省の上下水道並びに工業用水道の担当部課長へ直接要望書を手渡すとともに、要望内容について意見交換を行った。

更に各種水道関係に携わる衆参両議院議員96名に要望書を持参し、上下水道・工業用水道の事業量の確保等について強く訴えた。

(3) その他

①-1 水道施設整備費等国庫補助事業に係わる工事歩掛の要望

平成28年5月9日、水団連加盟団体から要望があった掘削幅の算定、NS形E種の追加及び間接工事費に関する歩掛改訂要望について、厚生労働省水道課長に提出した。

①-2 厚生労働省施工技術調査検討会への意見要望

日 時 平成28年6月13日(月)午後1時30分

場 所 厚生労働省17階専用第21会議室

内 容 ①-1についての詳細説明

出席者 (-)社日本ダクティル鉄管協会、全国管工事業協同組合連合会関係者5名

② (公社)日本下水道協会平成28年度下水道意見交換会議への参加

日 時 平成29年2月8日(金)午後3時30分
場 所 日本下水道協会大会議室
テーマ 各団体から出された意見について
出席者 JFEエンジニアリング(株)橋本恭彦アクアソリューション本部営業部長他5名

2 関係団体行事への協賛

平成28年度事業計画に基づき、日本水道協会、日本工業用水協会、日本下水道協会、全国簡易水道協議会及び全国水道企業団協議会の各総会及び地方支部総会に対して協賛を行なうとともに水道産業界への支援を要請した。

特に、水道展を併催する日本水道協会平成28年度全国会議には、協賛を行なうとともに開催都市である京都市に対し水道展への協力を要請した。

3 広報宣伝事業の実施

(1) 京都水道展の実施

日本水道協会平成28年度全国会議に併催して、水道展を開催し、会員の最新技術及び新規開発製品等を来場者に披露するとともに会員のカタログ展示を行った。

集客対策として開催案内チラシ及びポスターを作製し、開催市である京都市の協力により、近隣の事業体職員や工業高校・高等専門学校などに会場を周知した。また、来場者の利便を図るため、リーフレットを作成し、ブース配置図を業種別に着色するなど、案内を分かりやすくした。

【第50回 京都水道展概要】

日 時 平成28年11月9日(水)～11日(金)[3日間]
場 所 京都市勧業館みやこめっせ
概 要 1) 出展会員数 123会員
ブース数 104
展示面積 2,852㎡
2) 来場者数 6,000名
3) 来場者への記念品 「TIFFANY&Co製 タンブラー」
4) カタログ展示
展示会員数 46会員
カタログ数 78部
申込部数 794部(52名)

(2) 新聞・業界紙広告

年間事業計画に基づき、各種業界紙、関係業界雑誌などに次の広告を掲載した。

□ 広告掲載誌 業界新聞 37回
業界誌 8回

(3) 機関誌「水団連」の発行

機関誌「水団連」を年4回(1月、4月、7月、10月)発行し、国の関係機関、研究機関のほか、都道府県庁所在地事業体・政令指定都市所在事業体など、主に水道は給水件数、下水道は処理量、その他工業用水道、企業団は事業規模を勘案し配布した。

※作成部数：毎回2,000部

4 常設カタログ展示場

日本水道会館には、(公)日本水道協会ほか水道関連団体が入居しており、多くの会議、研修、講演会等が開催され、全国の事業体を含め多数の水道関係者が訪れる。

水団連では、1階に設置した常設カタログ展示場により会員の有する技術・製品情報を提供し、これら来訪者の利便を図っている。なお、平成28年度の展示状況は以下のとおり。

平成28年度の展示状況	□展示会員数	43会員
	□展示ポスト数	49ポスト

5 講演会等の開催

(1) 日時 平成28年4月12日(火)午前9時45分

場所 日本水道会館7階会議室

テーマ 平成28年度上水道関係事業体予算を聞く会

①「東京都水道局平成28年度予算の概要」

東京都水道局総務部主計課課長代理(予算担当) 早川 高礼氏

②「平成28年度当初予算」

北千葉広域水道企業団総務部副参事 伊能 徹雄氏

③「平成28年度水道局予算概要」

横浜市水道局経営部経理課長 山田 源太氏

出席者 91名

(2) 日時 平成28年5月18日(水)午後2時30分

場所 日本水道会館7階会議室

テーマ 千葉県営水道事業の長期施設整備方針と中期経営企画の概要

①「千葉県営水道事業長期施設整備方針」

千葉県水道局水道部計画課計画・危機管理室長 密本 恒之氏

②「千葉県営水道事業中期経営計画の概要」

千葉県水道局管理部総務企画課政策室主幹 飯塚 勝彦氏

出席者 118名

- (3) 日 時 平成28年6月3日(金)午後4時30分
 場 所 帝国ホテル東京2階「孔雀西の間」
 テーマ 創立50周年記念講演会
 「どうなる日本！—政治・経済ここがポイント—」
 講 師 読売新聞特別編集委員 橋本五郎氏
 出席者 118名
- (4) 日 時 平成28年6月7日(火)午後1時
 場 所 自動車会館2階会議室
 内 容 「水道管路システムに関する最近の技術動向—管路の更新・耐震化に向けて—」
 講 師 首都大学東京都市環境学部水道システム研究センター長特任教授 小泉 明氏
 内 容 「東京の水道水でビル屋上水耕栽培—2020年オリンピックに向けて—」
 講 師 お茶の水女子大学生生活科学部環境工学研究室共同研究者 海賀 信好氏
 出席者 54名
- (5) 日 時 平成28年9月30日(金)午後2時30分
 場 所 東京トラック事業健康保険組合6階大会議室
 内 容 「有機ポリマーによる浄水場の効率化」
 講 師 (公財)水道技術研究センター技術顧問 石井 健睿氏
 出席者 79名
- (6) 日 時 平成29年1月27日(水)午前10時
 場 所 グランドヒル市ヶ谷2階「白樺(西)」
 テーマ 平成29度上・工・下水道関係政府予算(案)を聞く会
 ①「水道関係予算案」
 厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部水道課
 課長補佐 小柳 隆一氏
 ②「工業用水関連予算案」
 経済産業省経済産業政策局地域経済産業グループ地域産業基盤整備課
 工業用水道計画官 山本 健一氏
 ③「下水道事業予算案」
 国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道事業課
 課長補佐 岸田 秀氏
 出席者58名

6 施設見学会の実施

第33回施設見学会

期 日 平成29年2月23日(木)

見学先 横須賀市上下水道局逸見総合管理センター、記念艦「三笠」

参加者 32名

7 上水道基礎専門研修

若手社員が企業側の視点で官需に係わる基礎的業務内容を習熟し、今後の営業・技術・開発等に活用されることを目的に入社後1～2年程度経過した社員を主対象に以下の日程等により上水道基礎専門研修を実施した。

開催期間 平成28年7月4日(月)～5日(火)[2日間]

開催場所 日本水道会館7階第1会議室他

受講者 86名

カリキュラム・講師 等

水道事業の概要 厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部水道課
課長補佐 久保 善哉氏

水道事業の経営① 東京都水道局総務部主計課統括課長代理 猪股 幹氏

水道事業の経営② 東京都水道局経理部契約課統括課長代理 佐多 健一郎氏

水道技術の基礎 (公社)日本水道協会工務部規格課長 若林 武夫氏

施設見学 行田浄水場・利根大堰

8 調査事業

(1) 水道事業計画と資材需要調査

水道事業の今後の事業計画及び資材需要を把握するため、厚生労働省の協力を得て調査を実施し、報告書を会員に提供すると共に、全国の水道事業体へも配布した。

9 情報提供

厚生労働省や国土交通省などから入手した通知、資料等について、会員活動に有意義と思われる資料を精査し、メールや水団連ホームページを通じて会員に情報提供を行った。

10 表彰事業

(1) 会長表彰(昨年通常総会において表彰)

□ 感謝状(30年)3会員、(20年)2会員、(10年)1会員

□ 表彰状(役員20年)1氏、(委員10年)1氏、(役員・委員代理10年)2氏

(2) 創立50周年記念感謝状(記念式典において贈呈)

(公社)日本水道協会、(一社)日本工業用水協会、(公社)日本下水道協会、全国簡易水道協議会、(株)日本水道新聞社、(株)水道産業新聞社

(3) 厚生労働大臣表彰

① 水道関係功労(平成28年11月24日)

小林公雄氏(㈱キッツ)

木内伸好氏(前コスモ工機株)

11 海外協力事業

(1) 第49回 国際協力機構(JICA)上水道研修コースへの協力

期 間 平成28年6月3日(金)～8月12日(金)[約2か月]

研修場所 [講義(日本水道協会)]日本水道会館会議室ほか
[工場見学]会員施設

研修国 アジア・アフリカの10か国

研修人員 15名

*研修終了日(8月12日)に、グランドヒル市ヶ谷3階「珊瑚の間」において、関係者60名が出席し歓送会を開催して交流を深めた。研修生には当連合会から研修アルバムを贈呈した。

(2) ISO/TC224(国際標準化機構技術委員会)への参画

ISO/TC224が定める上下水道サービス事業の国際規格については、(公社)日本水道協会に設置されたISO/TC224上水道国内対策委員会において調整、検討を行っており、本連合会からも委員を派遣し産業界の立場から意見を発信している。また、ISO/TC224ワーキングへも出席し、28年度は1回開催された。

11月 ISO/TC224 WG7及びWG9 英国・ロンドン市

(3) 第10回国際水協会(IWA)世界会議・展示会に出展

国際水協会の第10回世界会議・展示会が、平成28年10月9～14日の6日間、オーストラリア連邦クイーンズランド州ブリスベン市のブリスベンコンベンション&エキシビションセンターにおいて「水未来の形成」をテーマに開催され、世界各地から5,000名以上が参加した。本連合会では、展示会内に設置されたジャパンパビリオンにおいてパネル展示を行うなどの情報発信を行った。

(4) 第11回国際水協会(IWA)世界会議・展示会開催国委員会及び協賛推進専門部会へ参画

平成30年9月16日(日)から21日(金)にかけて「第11回国際水協会(IWA)世界会議・展示会」が東京ビッグサイトで開催される。この会議・展示会は隔年で開催され、100を超える国々から6,000人の研究者・事業体・企業等の水の専門家、200以上の出展企業が参加する、水に関する世界最大規模のイベントであり、日本で初めて東京で開催されるものである。この会議の開催準備及び円滑な会議運営を図るため、開催国委員会が平成27年9月に設立、また下部組織として協賛推進専門部会が設置された。この委員会及び専門部会に当連合会も昨年度に引き続き参画した。

12 新年名刺交換会の開催

恒例の新年名刺交換会は、日本水道協会・日本下水道協会・日本工業用水協会・全国簡易水道協議会及び当連合会の共催により以下の3地区で開催した。

(1) 東京地区

平成29年1月6日(金)午後3時から西新宿のヒルトン東京4階「菊の間」において開催した。

会場には、塩崎恭久厚生労働大臣、古屋範子厚生労働副大臣、今村雅弘復興大臣、根本幸典国土交通大臣政務官、太田昭宏衆議院議員、足立敏之、横山信一各参議院議員並びに関係省庁、事業体ほか会員計約900名の出席があった。主催5団体を代表して木股昌俊会長の挨拶のあと各界との交流を深めた。

(2) 名古屋地区

平成29年1月10日(火)午前11時から名古屋市中村区の名鉄ニューグランドホテル7階「扇の間」において、中部ウォータークラブ、全国上下水道コンサルタント協会中部支部及び5団体共催により開催し、水谷重夫副会長等による挨拶のあと交流を行った。出席者:約400名

(3) 大阪地区

平成29年1月10日(火)午後3時から大阪市中央区のシティプラザ大阪2階「旬の間」において、関西ウォータークラブ及び5団体共催により開催し、福井秀明副会長等による挨拶のあと交流を行った。出席者:約500名

13 水団連創立50周年記念行事の挙行

当連合会は、昭和41年11月16日の創立以来、50周年を迎えることとなった。これを記念し以下の通り記念行事を挙行した。

(1) 記念誌「水団連50年の歩み」の刊行

記念誌「水団連50年の歩み」を発刊し、記念懇親会来場者へ配布した他、7月に発刊した機関誌に同封して会員はもとより国の関係機関、研究機関や全国の主な関係機関に送付した。

(2) 創立50周年記念式典等の開催

平成28年6月3日に開催した第50回通常総会終了後に以下の行事を行った。

① 記念式典

次 第 会長挨拶 木股昌俊会長

来賓祝辞	厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部長	福田 祐典氏
	経済産業省経済産業政策局地域経済産業政策課長	高橋 淳氏
	国土交通省水管理・国土保全局下水道部長	塩路 勝久氏
	総務省自治財政局公営企業課公営企業経営室長	石黒 久也氏

来賓紹介 (公社)日本水道協会理事長 尾崎 勝氏
(一社)日本工業用水協会専務理事 本郷 秀昭氏
(公社)日本下水道協会理事長 曾小川 久貴氏
全国簡易水道協議会事務局長 若松 五常氏
(株)日本水道新聞社代表取締役社長 篠本 勝氏
(株)水道産業新聞社代表取締役社長 西原 一裕氏

感謝状贈呈 (公社)日本水道協会、(一社)日本工業用水協会、(公社)日本下水道協会、全国簡易水道協議会、(株)日本水道新聞社、(株)水道産業新聞社

② 記念講演会

内 容 「どうなる日本！—政治・経済ここがポイント—」
講 師 読売新聞特別編集委員 橋本五郎氏

③ 記念懇親会

例年開催している通常総会終了後の懇親会に代わり記念講演会終了後に創立50周年記念懇親会を開催し、来場者には粗品とともに記念誌を配布した。

14 国主催の中央行事等への協賛

(1) 第58回 水道週間

期 間 平成28年6月1日(水)～7日(火)
主 催 厚生労働省、都道府県ほか
スロガソ 「じゃ口から 安心とどけ 未来まで」

(2) 第40回 水の週間中央行事「水を考えるつどい」

期 日 平成28年8月1日(月)[期間8/1(土)～8/7(金)]
場 所 科学技術館サイエンスホール
主 催 水循環政策本部、国土交通省、東京都など実行委員会

(3) その他の協賛等

① 健康のため水を飲もう推進運動

目 的 「健康のため水を飲んで、熱中症や脳梗塞などの重大な事故から尊い人命を守る」
主 催 「健康のため水を飲もう」推進委員会(委員長＝武藤芳照日本体育大学日体大総合研究所所長・日本体育大学特別招聘教授)
後 援 厚生労働省、本連合会ほか

② 第58回「水の写真コンテスト」(水道週間協賛事業)

募集期間 平成28年6月1日(水)～9月10日(土)
題材 水のある風景、水を利用している場面、水道施設または工事風景
主催 (株)水道産業新聞社
後援 厚生労働省、本連合会ほか
特別賞 (一社)日本水道工業団体連合会会長賞

③ 日本発! 暮らしを支える底力「下水道展'16 東京」

期間 平成28年7月26日(火)～29日(金)[4日間]
場所 ポートメッセなごや
主催 (公社)日本下水道協会
後援 国土交通省、環境省、経済産業省、日本下水道事業団ほか
協賛 本連合会ほか

④ 第11回 再生可能エネルギー世界展示会

期間 平成28年6月29日(水)～7月1日(金)[3日間]
場所 パシフィコ横浜
主催 (特非)再生可能エネルギー協議会(代表＝黒川浩助東京農工大学名誉教授)
後援 経済産業省、環境省、国土交通省ほか
協賛 本連合会ほか

⑤ 第8回 シンポジウム「持続可能な水道システムの確立」

期間 平成28年8月25日(木)～26日(金)[2日間]
場所 横浜国立大学理工学部C講義棟
主催 「持続可能な水道システムの確立」企画委員会(委員長＝清塚雅彦横浜市水道局水道技術管理者配水部長)
後援 厚生労働省、本連合会ほか

⑥ エコテクノ2016(地球環境ソリューション展&I社展) -先端技術展)

期間 平成28年10月12日(水)～14日(金)[3日間]
場所 北九州市・西日本総合展示場新館他
主催 福岡県、北九州市、(公財)西日本産業貿易コンベンション協会
後援 国土交通省、環境省、経済産業省九州経済産業局、本連合会ほか

⑦ い～い井戸の日 2016 in 東北

期日 平成28年11月10日(木)
場所 山形市・山形グランドホテル
主催 (一社)全国さく井協会
後援 国土交通省、本連合会ほか

⑧ Japan Home & Building Show 2016

期 間 平成28年10月26日(水)～28日(金)[3日間]
場 所 東京ビッグサイト
主 催 (一社)日本能率協会
後 援 経済産業省、国土交通省
協 賛 本連合会ほか

⑨ 浄水技術研究会第16回講演会

期 日 平成28年10月7日(金)
場 所 自動車会館大会議室
主 催 浄水技術研究会
後 援 厚生労働省、本連合会ほか

⑩ 浄水技術研究会第17回講演会

期 日 平成28年11月25日(金)
場 所 自動車会館大会議室
主 催 浄水技術研究会
後 援 厚生労働省、本連合会ほか

⑪ 2017年度ミス日本「水の天使」

選考日 平成29年1月23日(月)
役 割 生命の豊かさを支える美しい水のための人々の努力と、世界の水インフラの発展に貢献できる日本の素晴らしい経験と技術をわかりやすく伝える
主 催 ミス日本コンテスト事務局
協 賛 本連合会ほか
受賞者 東京女子大学現代教養学部人文学科3年・宮崎あずささん(長崎県出身23歳)

⑫ InterAqua 2017 第8回国際水ソリューション総合展

期 間 平成29年2月15日(水)～17日(金)[3日間]
場 所 東京ビッグサイト
主 催 (株)JTBコミュニケーションデザイン
後 援 (国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(公社)日本水道協会、本連合会ほか

⑬ 2017 JDA Forum

期 日 平成29年2月16日(木)
場 所 東京ビッグサイト
主 催 日本脱塩協会
後 援 (国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(公社)日本水道協会、本連合会ほか

15 協議会等への所属状況

- (1) (公社)国際厚生事業団
- (2) (特非)日本水フォーラム

16 事務局として関わる組織

- (1) 水友会
- (2) 関東全水道人囲碁同好会

17 水団連ホームページによる情報発信

水団連ホームページでは、関係省の施策、予算等の情報提供を行うとともに、水道展関係資料、講演会開催等の周知を図っている。

18 新水道ビジョン推進協議会への協力

平成25年8月、新水道ビジョンに示された各種方策を推進するため、その実施主体となる関係者が実施状況を共有し、密接に連携するための枠組みとして「新水道ビジョン推進協議会」が設置された。平成29年3月14日に開催された第6回新水道ビジョン推進協議会には本連合会から仁井正夫専務理事及び岡部洋上級アドバイザーが出席し、先進的な事例・情報等を参考としつつ、その解決に資する協力体制や解決策を検討した。

19 水道事業の維持・向上に関する専門委員会への参加

厚生労働省では、今後の水道事業の基盤強化に向けた対応策等に係る専門的事項について検討することを目的として、厚生科学審議会生活環境水道部会に「水道事業の維持・向上に関する専門委員会」が設置され、平成28年3月22日に第1回の専門委員会を開催以降、9回の審議を経て、同年11月22日に「国民生活を支える水道事業の基盤強化等に向けて講ずべき施策について」と題する報告書を取りまとめた。本連合会からは岡部洋上級アドバイザーが専門委員として参加し、産業界の立場から今後の水道行政において講ずべき施策の基本的な方向性等に対する意見を述べた。

20 生産性向上設備等のうち先端設備（A類型）に係る仕様等証明書発行業務の実施

平成26年1月20日に施行された産業競争力強化法に基づく、生産性向上設備等のうち先端設備（A類型）に係る仕様等証明書の発行について、平成28年度も引き続き実施した。

※ 平成28年度の証明書発行件数 5件

なお、本件にかかる発行業務については、税制措置期間である平成29年3月31日をもって終了となったが、平成28年7月1日に施行された中小企業等経営強化法に基づく生産性向上設備に係る固定資産税の軽減措置が平成31年3月31日まで実施されており、本連合会も証明書発行団体の指定を受けている。